



「進学の熊西」熊谷西高等学校 進路主事だより

West (Vol.7)

2023.7.20. 平井 利久



西高生ならできる！「夏休みこそ本質的な学習を」

1年生は「西高生になる」 2年生は「勝負の2年生」 4月から100日はどうでしたか。

夏休みが始まります。

以下の3点を意識して、学習・補習・文化祭準備・部活動等に充実した夏休みを過ごして下さい。

(1) オープンキャンパスへ出かけよう。

オープンキャンパスに出向き、大学の雰囲気に触れ、大学の魅力を体感することで、進路意識の高揚が期待できます。是非、1校だけでなく、数校に出向いてみてください。

(2) 毎日の「自学自習時間」を確保する。そして「何をいつまでに」を意識する。

「My 時間割」を作り達成感を！ → 絶対やりたいこと、できればやりたいことをリスト化する

- ① 優先順位を考える。取り組む順序を決める。
- ② 単元や時間ごとにミニテストをする。記憶を定着させる。
- ③ 「この時間は絶対にこれをする」と決める。→ 「勉強内容」と「時間帯」を決める。
- ④ 達成する結果を書き出す。
→ 例えば、次の模試で全科偏差値55を取る・課題テストで全科85点以上取るなど、期限、テスト、偏差値、点数、順位など数値化する。
- ⑤ 「何をいつまでに終わらせるのか」期限を明確に。
- ⑥ 苦手分野を毎日勉強。得意科目はどんどん伸ばす(夢中科目へ)、苦手を減らす。
- ⑦ 英単語は復習とともに先取りしてやる。英語は文理必須、しっかり復習を。

部活や行事などで忙しい毎日ですが、日々の学習なしでは学力向上は望めません。隙間時間(隙間時間：電車などの通学時間、学校での休み時間など)を活用するのはもちろんですが、特に英語や数学の問題にじっくり取り組むために、まとまった時間を作り出してください。食事の前、寝る前、朝早くなど、生活スタイルによってタイミングは違うと思いますが、毎日固定すると続けやすくなります。時間をしっかりかけた学習をしましょう。その際、「何をいつまでに終わらせるのか」という「スパンをしっかり意識」しましょう。

(3) 「目標」を高く持つ・「志高く」

これから目指す大学入試で大切なのは、「行きたい大学」「行くべき大学」を高く掲げることです。もちろんやりたいこと、学部、学科もそうですが、熊谷西高校に通っている以上、どの大学も目指す資格があります。自分がどこまで伸びるのかにチャレンジするのも、大学受験の大きな意義の一つです(熊谷西高校生は目標とした大学の分だけ伸びます)。「この大学を志望しているんだ!!」と臆せずと言ってみてください。同じような仲間がきっといるはずですよ。そうした仲間をお互いに見つけ、時には励まし合い、切磋琢磨して下さい。我々も皆さんの頑張りを全力でサポートします。

(4) 大学入試で求められるものを「意識した学習」を！

世界がより複雑な構造になり、これまで以上に正解がわからない、あっても一つではない社会を生き抜く人材を、従来の出題方法ではもはや判別できなくなりました。

今の大学入試は、「高校生活、あるいはそれ以前の経験の中で、社会が求める力を少しずつ身につけていきましょう、それを大学入試で見ますよ。」という方向に変化しています。

では、これからの社会に必要な力とは何でしょうか。いろいろありますが、あえて一つ挙げるとすれば、「言葉にする力」(アウトプット力) だと思います。

これまでの「当たり前」が「当たり前」ではなくなる社会になっていき、模範とする生き方も定かではない中で、生徒自身が「これはどうなんだろう」と立ち止まり、その疑問や自分なりの考えを文字や言葉にして、他者に見える形で言葉にすることです。

さらに、日々の学習に関しては、本質的な理解をしながら、自分の頭で考えながら勉強することです。圧倒的な知識量が必要な英語や古文の単語や文法などは、ひたすら暗記したり覚えるしかないものがあります。基礎をなす部分であることが多いので、できる限り早めに取りかかりインプットを終わらせましょう。しかし、数学や理科であれば公式の丸暗記や解法のパターンを覚えるだけではだめで、仕組みを理解する必要があります。日本史や世界史であれば歴史の流れに沿って因果関係や地理的な背景を考えなければなりません。英文や現代文などは多くの文を読んだり、新聞などからの知識がより深い理解につながります。それが思考力を高めます。

どうか、勉強時間を増やすだけでなく、問を考え抜く、そして質の向上にも取り組んでください。

【NEW！現1、2年生に関わる変化】

★共通テストのオンライン出願について2026年度共通テストから導入する方針★

共通テストの出願手続きはこれまで、高校を通じた郵送が中心だったが、オンライン出願導入後は受験生自らがインターネット上で出願することになる。デジタル環境を有しない志願者に配慮し、従来の郵送による手続きを残すことも検討中。検定料のオンライン決済についても導入を検討している。大学入試センターによると、オンライン出願導入により、受験科目の確認や修正などは、専用のマイページで随時対応できるようになる。受験票は印刷して試験会場に持参する。

今後、2024年6月ごろ高校などに周知する見込みだという。

★2024年度から実用英語技能検定(英検)の問題形式が一部リニューアルされる予定★

【リニューアルの内容】 (該当箇所を水色枠で示しています。※①②③の出題例は次頁以降をご参照ください。)

級	一次試験			二次試験	
	Reading	Writing	試験時間	Listening	Speaking
1級	語彙問題・長文問題の設問数を一部削減 (試験時間調整のため)	英作文問題の出題を1題から2題に増加 既存の「意見論述」の出題に加え、 【要約】問題を出題 ※①	変更なし (100分)	変更なし	変更なし
準1級			変更なし (90分)	変更なし	受験者自身の意見を問う質問 (No.4) に話題導入文を追加 ※③
2級		英作文問題の出題を1題から2題に増加	変更なし (85分)	変更なし	変更なし
準2級			時間延長 (75→80分)	変更なし	変更なし
3級	変更なし	既存の「意見論述」の出題に加え、 【Eメール】問題を出題 ※②	時間延長 (50→65分)	変更なし	変更なし

【主な変更 (その他の変更点もあります)】

★ 1級～2級まで ①英作文問題が2題になる。②要約問題が出題される。③準1は話題導入文。

★ 準2級 ①英作文の問題が2題になる。 ②Eメールの問題が出題される。

③時間延長75分→80分へ

■授業中の教科書などでは、パラグラフごとの要約や、その課を読んで意見を構築するなどの日頃のプラスアルファ学習も加えると良いでしょう。

【7月15日(土) 進研記述模試終了。次は11月】

1年生にとっては、初めての全国模試となりました。『大学入試は全国区』である以上、自分の受験学力を定期的・客観的に知ることが重要です。3年生は各社の模試が校外受験を含め月に1回ほどあるため、校内以外にも各自で申し込んで受験しています。1、2年生の皆さんも、進路実現に対して学力の蓄積が十分であるか否かを確認する機会となります。模試の出題者は「解答解説」の作成に3分の2以上の労力をかけていると言われています。つまり、決して安くはない模試ですから“受けただけ”では価値が半減してしまいます。受験後には速やかに復習にしっかり取り組み、教科書や参考書で知識を補填、弱点を補強し、100%の活用を図ってください。

もう一度「進路の道標」を見直すこともオススメです。

次回は11月4日(土)が進研記述模試となります。これを一つの指針に！

進路主事日より「West」前号(第6号)をよく読み、計画的に学習に取り組みましょう。

特に2年生は、「理科・社会」が増えます。範囲が狭い分理科や社会での得点も期待できるのです。

【オープンキャンパスに出かけよう】

進路希望達成に向けて、オープンキャンパスに参加する、webのオープンキャンパスに参加する、ホームページを見るなど3年生になる前に、各大学の「オープンキャンパス」に参加しておくことでオープンキャンパスに参加することで、受験の知識が増えることに加え、受験勉強に対するモチベーションが上昇することも期待できます。実際に見に行くことは進学の準備段階として必要なことです。

最近ではオープンキャンパスも再開し、webの場合も含め、1、2年生は、積極的にオープンキャンパスに参加し情報を収集しておきましょう。特に、医療系を希望している人は、機会があれば、医療スタッフ体験などの実習にぜひ参加してください。第1志望の学校と、可能であれば、比較する意味で、第2志望以下の学校を見ておくと良いと思います。その際、設備の良し悪しだけではなく、学生の印象も含め、大局的に見るのが大切です。1、2年生は、第1志望は大切ですが、今後、志望は変わる可能性もあるので、複数の大学の学部・学科を調べ、選択肢の幅を広げておくことが良いと思います。自分の興味関心、適性、大学卒業後の職業選択、入試方法、立地条件など、いろいろな角度から考えておきましょう。

<情報収集のポイント>

入試方法、研究内容、施設設備、学費、取得資格、就職状況、過去問など、入試の方法に加え、各大学の「研究内容」、「講義・実習」の特徴、卒業後の「就職状況」、取得できる「資格・免許(特に 教員免許の種類)」、施設設備、学生の生活状況、学費、大学独自の奨学金制度などの情報は重要です。また、推薦・総合型選抜の「過去問」を配信する大学もあるので注意しましょう。

【大学個人見学のすすめ】

「オープンキャンパスに行けなかったので個別に大学の見学をしたい」「イベントの日だけでなく、普段の授業の様子もチェックしたい」という人も多いかと思います。

「大学は誰でも入れるとは聞きますが、自由に入って見学しても良いのだろうか。」「大学は、オープンキャンパス以外でも見学しても大丈夫なのか?」という質問もあります。

A: 多くの大学は、事前予約無しで見学 OK です。

● ただし、すべての大学が個別で見学できるわけではありません。

事前に予約が必要な大学や、予約が不要なくとも窓口で受け付けをする学校もあります。これは各大学のホームページを参考にしてください。

● 案内スタッフによるガイドツアー（立教大学、早稲田大学、東京大学など）は予約をしましょう。ガイドさんに案内してもらいたい場合は要予約です。学校によってはガイドツアーの日時指定はなく、予約すれば案内係をつけてくれる場合もあります。これも各大学のホームページで確認してください。

● 大学を見学する時のポイント

★大学を見学する際の服装 → 大学見学の際の服装は自由。

★学食・生協・コンビニを利用できる 多くの大学で、一般人でも学食を利用できます。大学生協では大学オリジナルグッズ（ノート、ボールペン等）を一般の人でも購入できます。

【オープンキャンパス情報】

【ベネッセ】 <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/OpenCampusSearch/>



【スタディサプリ】 <https://shingakunet.com/openCampus/>



各大学から 7月末までには大学案内に加え、募集要項等が公表されることと思います。学部編成や入試科目の変更、またキャンパス移転がある大学・学部では、志願動向にも影響が出てくるのが予想されますので要チェックです。